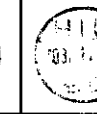


	△の数	訂正記事	担当	検図	年月日		△の数	訂正記事	担当	検図	年月日
△						△					
△						△					
適用規格											
定 格	使用温度範囲		-40℃～85℃			保存温度範囲		-10℃～50℃(梱包材を含む)			
	電 圧		AC/DC 50V			使用・保存温度範囲		相対湿度90%以下(結露しないこと)			
	電 流		0.5A(全芯数通電する場合は×70%)			適合ケーブル		t=0.3±0.05,接触部 金めっき			
性 能											
	項 目	試 験 方 法				規 格				QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。				図面と合致していること。				○	○
	表示	目視にて確認する。								○	○
電気的 性能	接触抵抗	1mA(DC又は1000Hz)で測定する。				50mΩ以下 ※FPC,FFC導体抵抗を含む。(L=8mm)				○	○
	絶縁抵抗	DC100Vで測定する。				500MΩ以上				○	○
	耐電圧	AC150Vの電圧を1分間印加する。				せん絡・絶縁破壊がないこと。				○	○
機械的 性能	繰り返し動作	20回の抜き差しを行う。				①接触抵抗: 50mΩ以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
	耐振性	周波数 10～55Hz,片振幅 0.75mm, 3軸方向各10サイクル試験する。				①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②接触抵抗: 50mΩ以下				○	—
	衝撃	加速度 981m/s ² ,持続時間 6ms, 正弦半波 3方向各 3回試験する。				③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
	FPC保持力	適合FPCで測定する。(コネクタ、FPC 共に初期。FPC端末厚t=0.30mm)				挿入方向 0.4×nN以上(n:芯数)				○	—
環 境 的 性 能	温度サイクル	温度 -40→+15→+35→+85→+15→+35℃ 時間 30→2→3→30→2→3分 を5サイクル試験する。				①接触抵抗: 50mΩ以下 ②絶縁抵抗: 50MΩ以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃,相対湿度 90～95%中に 96時間放置する。								○	—
	温湿度サイクルの耐 湿性	温度 -10→+65℃,相対湿度 90～96%中に 10サイクル(240時間)放置する。				①接触抵抗: 50mΩ以下 ②絶縁抵抗: 1MΩ以上(高温時) ③絶縁抵抗: 50MΩ以上(乾燥時) ④破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
	耐熱性	温度 85±2℃中 96時間放置する。				①接触抵抗: 50mΩ以下				○	—
	耐寒性	温度 -40±3℃中 96時間放置する。				②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。				○	—
	塩水噴霧	温度 35±2℃、濃度 5%の塩水噴霧中に 96時間放置する。				①接触抵抗: 50mΩ以下 ②はなはだしい腐食がないこと。				○	—
	二酸化硫黄 [JIS C 0090]	温度 40±2℃、相対湿度 80±5% 濃度 25±5ppmに 96時間放置する。								○	—
	硫化水素 [JIS C 0092]	温度 40±2℃、相対湿度 80±5% 濃度 10～15ppmに 96時間放置する。								○	—
	はんだ耐熱性	1)リフローの場合 MAX 250℃ (2回迄可) 230℃以上 30秒以内 ブリット 150～200℃ 90～120秒 2)手半田の場合 350±10℃ 5±1秒間				外観の変形及び端子などに著しい ガタがないこと。				○	—
	はんだ付け性	はんだ温度 235±5℃,浸せき時間 2±0.5 秒間のはんだ付けを行う。				はんだ浸せき面の 95%以上が 新しいはんだでぬれていること。				○	—
備考						製 図	担 当	検 図	承 認	出 図	
											
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。											
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目											
HRS ヒロセ電機株式会社 HIROSE ELECTRIC CO., LTD.						製品規格表			製品名 FH12-**-S-0.5SH(55)		
IBCL CL			図番 SLC4-150229-51			製品コード CL586			1/1		